

飽水管理を徹底し、穂肥は生育に応じて適正に施用しましょう！

1 生育概況

○生育状況（指標比・差）

	草丈	茎数	葉数の進み	葉色
こしいぶき	長い	多い	早い	濃い
コシヒカリ	やや長い	やや多い	並	並
新 之 助	長い	多い	並	並

○調査結果（平均値）※調査ほごとの数値は次ページを参照

	草丈 (cm)			茎数 (本/m ²)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)		
	本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差	本年	指標差	前年差
こしいぶき	67	112%	102%	555	121%	121%	12.3	+1.1	+0.7	38.9	+2.5	+0.0
コシヒカリ	69	106%	92%	527	108%	118%	11.3	+0.2	-0.1	35.2	+0.1	+1.9
新 之 助	62	115%	102%	732	120%	110%	11.5	+0.1	-0.2	36.3	+0.9	+1.7

2 今後の気象 【北陸地方 1 か月予報 (7/11-8/10)、新潟地方気象台発表】

期間を通じて気温は高く、特に期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。
降水量は平年並か少ない見込みです。

3 今後の管理

- 根の健全化を図るため、飽水管理を徹底しましょう。
- 幼穂の状態を確認して、穂肥の施用時期を判断しましょう。
(コシヒカリのめやす：1 回目穂肥は幼穂長 1 cm、2 回目穂肥は幼穂長 8～11cm)
- 出穂期見込みと穂肥の施用時期

品種 (田植え時期)	出穂期 (前年差)	1 回目穂肥	2 回目穂肥
こしいぶき (5/10頃)	7/22 頃 (- 2 日)	—	今が適期です
コシヒカリ (5/10頃)	7/30 頃 (- 3 日)	7/12 頃	7/20 頃
新 之 助 (5/15頃)	8/4 頃 (- 4 日)	7/14～17 頃	7/23～25 頃

- コシヒカリは、幼穂形成期の草丈が 75cm 以上または葉色 (SPAD 値) が 35 以上の場合、倒伏防止のため、穂肥の施用量を減らしたり、施用時期を遅らせたりしましょう。
- 有機質由来窒素を 50%以上含む肥料は、肥料の効果が遅くなるので、化学肥料より 2～3 日早めに施用しましょう。
- 暑いときに深水にすると根腐れを助長し、収量・品質の低下につながります。
漏水田以外で湛水するときは、3 cm 程度の浅水にしましょう。
- 斑点米カメムシ類の発生量が多いので、農道・畦畔の草刈りを徹底しましょう。
- 新之助などのいもち病に弱い品種は、病斑を確認したらただちに防除しましょう。

※農作業中はこまめな休息や水分補給等の熱中症対策をしましょう。

問い合わせ先 上越農業普及指導センター作物担当(電話025-526-9406)

【参考】生育調査結果

		田植日	草丈(cm)			茎数(本/㎡)			葉数(葉)			葉色(SPAD値)			調査日
			本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差	本年	指標差	前年差	
こしいぶき	下稲塚	5月10日	69	115%	99%	589	128%	129%	12.2	1.0	0.5	38.5	2.1	0.5	7月8日
	潟町	5月10日	64	107%	105%	520	113%	113%	12.3	1.1	0.8	39.3	2.9	-0.4	7月7日
コシヒカリ	下稲塚	5月11日	69	106%	93%	594	122%	132%	11.0	-0.1	-0.7	31.3	-3.8	-2.8	6月8日
	南新保	5月9日	71	109%	95%	444	91%	123%	11.6	0.5	0.3	38.2	3.1	7.6	7月7日
	岩野	5月20日	64	98%	88%	470	97%	99%	11.0	-0.1	-0.2	35.0	-0.1	2.0	7月7日
	上百々	5月18日	70	108%	91%	598	123%	121%	11.4	0.3	0.2	36.3	1.2	0.7	7月8日
	関山※	5月20日	52	95%	79%	659	164%	135%	10.6	0.1	-0.1	33.2	-2.4	-2.2	7月7日
新之助	下稲塚	5月16日	62	115%	94%	706	116%	91%	11.3	-0.1	-0.5	35.0	-0.4	-3.6	7月8日
	吉崎	5月15日	62	115%	111%	758	125%	138%	11.6	0.2	0.1	37.5	2.1	6.9	7月7日

※の地点は、前ページ「調査結果」の平均に含まない。